

(1) これまでの取組

平成24年4月以降、全国で登下校中の児童等の列に自動車が入り込み、死傷者が多数発生する事故が相次いだことから、各小学校の通学路において関係機関との連携による緊急合同点検をはじめ、通学路の安全確保に向け取組を継続して行ってきました。

平成25年からは、着実かつ効果的に取組を推進するため、関係機関との綿密な連携のもと、各市町村で「通学路交通安全プログラム」を策定し、各地域の実情に応じ通学路の安全対策を展開してまいりました。

これらの取組をより強力に推進するため、教育委員会・道路管理者・警察で構成する第6回「奈良県通学路安全対策推進会議」を開催し、今後の取組方針等について意見交換を行います。

【経緯】

【H24年度】	<ul style="list-style-type: none"> • 全国の通学路で事故が多発 • 奈良県内において「緊急合同点検」を実施 • 第1回「奈良県通学路安全対策推進会議」設置し、以後毎年度開催
【H25～26年度】	<ul style="list-style-type: none"> • 文部科学省・国土交通省・警察庁による合同通知（H25.12.6） 「通学路の交通安全の確保に向けた着実かつ効果的な取組の推進について」 <p>県内各市町村において、「通学路交通安全プログラム」策定に着手</p>
【H27年度】	<ul style="list-style-type: none"> • 県内全ての市町村において、「通学路交通安全プログラム」策定を完了
【H28年度】	<ul style="list-style-type: none"> • 「第5回奈良県通学路安全対策推進会議」でPDCAサイクル推進の重要性を確認 • 「地域ブロック会議」を2→7ブロックに細分化

【奈良県内における奈良県通学路安全対策推進会議の流れ】

